

低成長/低金利時代に高成長企業への投資機会を探る

低成長/低金利の世界

IMF(国際通貨基金)では、2016年の世界の経済成長率を、金融危機前10年間の平均+4.2%を下回る+3.2%の低水準に留まると予測しています。また、欧州や日本でマイナス金利政策が導入される中、先進国債券の利回りは歴史的な低水準にあります。このような環境下、今後数年は多くの資産クラスから得られる絶対リターンも低水準に留まる可能性があり、以前のような高いリターンを得ることは難しくなっています。

当社では、米国経済が他の先進国対比で相対的に高い成長率を維持する中で、米国株式は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。一方で、米国の潜在GDP成長率も金融危機前の水準から低下したと推定され、バリュエーションの大幅な上昇が見込み難い現在では、米国株式のリターンも企業の利益成長に沿った形になると想定しています。

高成長の可能性を持つ「ディスラプター」に注目

マクロ経済全体を見渡すことも重要ですが、長期的な企業の株価リターンは、個々の企業業績の成長に左右されます。従って、世界経済全体として低成長が続く中でも、革新的な新製品/サービスを開発し、市場シェアを獲得することが可能な企業は、高い成長を成し遂げることが可能です。

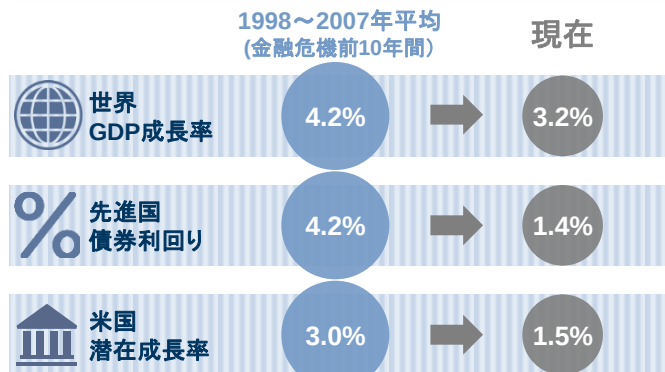
当社では、「ディスラプター」と呼ばれる、既存の業界秩序をディスラプト(破壊)し、新たな価値を創造する革新的企業に注目しています。このような企業は、長期にわたり持続的に成長し、市場の成功者となる可能性を秘めています。特にデジタル・ネイティブと称される若い世代の消費行動を取り込むテクノロジー分野で多くの例を見ることができます。

例えば、広告市場では、全体の成長率は緩やかなものの、オンライン広告が既存の伝統的媒体(テレビ、新聞、ラジオ、雑誌など)からパイを奪う形で大きな成長を遂げています。全体に占めるオンライン広告の割合は、2012年の21%から2019年には約2倍の42%まで拡大すると見込まれています。

また、自動車配車アプリの運営を行うUber(ウーバー)は、創立8年目ながら世界400都市以上でビジネスを展開しています。既存のタクシー業界のビジネスモデルを根底から覆し、世の中の交通事情までも変えてしまうほどの勢いをもち、非上場企業ながらその企業価値は5兆円を超えとも言われています。

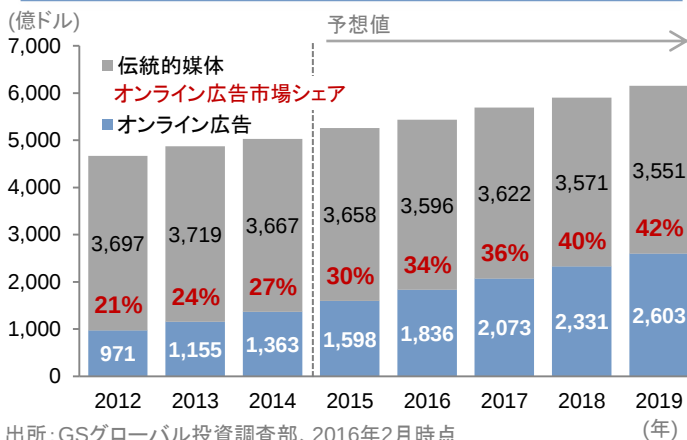
このような「ディスラプター」企業を発掘し、投資を行うことで、低成長/低金利時代でも高い投資リターンを獲得することが可能だと考えています。

低成長/低金利の世界



出所: IMF、パークレイズ、米議会予算局、ブルームバーグ
GDP成長率はIMFによる世界GDP成長率、現在は2016年の予想値(2016年4月時点)、債券利回りはパークレイズ・グローバル総合インデックスの最低利回り、現在は2016年3月末時点、米国潜在成長率は米議会予算局による推定値、現在は2016年の予想値(2016年1月時点)

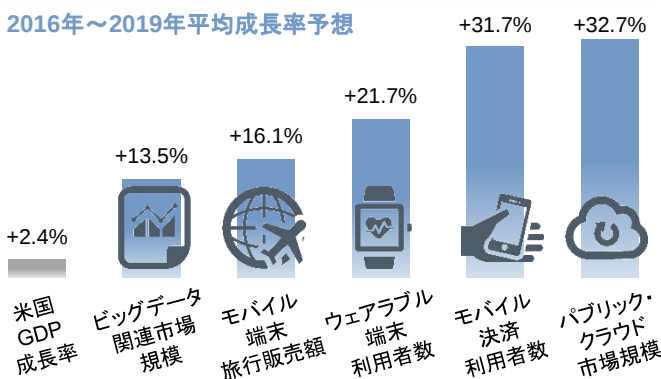
世界の広告市場の規模とオンライン広告シェア推移



出所: GSグローバル投資調査部、2016年2月時点
期間: 2012年～2019年、2015年以降は予想値

「ディスラプター」市場の成長率予想

2016年～2019年平均成長率予想



出所: eMarketer、Wikibon、IMF、期間: 2016年～2019年、2015年時点(米国GDP成長率のみ2016年4月時点)、モバイル端末旅行販売額、ウェアラブル端末利用者数、モバイル決済利用者数は米国の予想データ